

地域協働学校だより No.2

令和2年7月1日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

地域協働学校からのご報告です。新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言の解除に伴い6月から学校が再開され、やっと学校に子供たちの姿が戻ってきました。今回は緑のボランティアによる学校のお花の植替えの活動と、分散登校中の児童の安全を守る取り組みについてご紹介いたします。

みどりのボランティア夏の花植替え

長かった臨時休校が終わり、6月1日から分散登校ではありますが、児童たちはまた学校に通うことができるようになりました。みどりのボランティアは、休校期間中思うような活動はできませんでしたが、出勤されていた主事さんも水やりをしてくださったので生き生きと花壇を維持することができました。学校が始まり花壇がさみしくなってきたので植替えを計画しました。分散登校中で委員会活動がまだ始まっていないため、今回はボランティアメンバーのみで植替えをしました。これからの季節に強い「ペンタス・マリーゴールド・ニチニチソウ」の3種 40ポットを植えました。

さて、植替えを行った18日はお天気の心配がありましたが運よく曇り。短時間で作業を終わらせるため花壇整理日と分け、手際よく久しぶりの活動を楽しみました。近隣のマンションのお花の管理をされている方にもお声掛けいただき、防犯のためにも、きれいに整えていることを話されていました。

まだまだ制約のある分散登校中ですが、児童が少しでも明るく和やかな気持ちをもって登校できるように、今後も児童の学校生活に合わせた活動をしていこうと思っています。

◎みどりのボランティアメンバーは随時募集中です！
お問合せは、市谷小学校副校長白崎耕司先生まで。



分散登校中の登下校の見守り

緊急事態宣言が解除され、6月から学校が再開されましたが、「3密」を避けるために、当初は分散登校を余儀なくされました。これにより、正午前後に午前組の下校と午後組の登校のため多くの児童たちが行き交うことになり、通常の通学時間と異なり車通りも多いことから、児童の安全を保つことが課題になりました。

通常は、朝の登校時と午後の下校時の2回黄色い旗を持って見守ってくださる安全管理員さんにも1日3回立っていただき、地域協働学校の方も、緑門付近で児童が道路の片側に寄って歩くよう安全指導をしてくださっています。牛込警察署も見回りを増やしているそうです。新1年生がまだ登下校に慣れない中ですが、市谷小の児童たちの安全が多くの方々に支えられていると実感しました。

